

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>			
<b>推進方策</b>	<b>2 男女共同参画に関する教育・学習の推進</b>			
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 家庭教育に関する学習機会の提供		
<b>関連事業</b>	<b>担当課</b>	<b>数値目標</b>		<b>計画(第2次)での方向</b>
		現状値(H24)	目標値(H29)	
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	①充実 ②継続 ● ③新規
<b>事業の概要</b>				
家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。 学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。				
<b>平成25年度実績</b>				
学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。家庭生活において、相手の人格と立場を理解・尊重し、助け合い協力し合うことの大切さを学ぶ機会を、家庭科や総合的な学習の時間などに設けた。学校だより・学年通信・学級通信・保健だより・生徒指導通信を定期的に発行した。校区別人権・同和教育懇談会を人権・同和教育参観日に行った。学校だより等のお知らせを通して、家庭での基本的な生活習慣の育成が重要であることを啓発した。地区別教育懇談会・個別懇談会を実施し、家庭学習や学校での学習の様子などを理解していただき、学校と家庭との協力関係を構築できた。男女の特性を理解した上で、家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、発達段階に応じた年間指導計画でその基盤を学習している。望ましい食生活についての授業を参観日に行い、その後の学校保健委員会で栄養士さんにバランスの良い食事の大切さについて話をいただいた。男女の特性を理解したうえでの家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、発達段階に応じた年間指導計画でその基盤について学習している。	決算額			
	実績値			
	92%			
	進捗状況			
				4
<b>事業に対する評価・課題等</b>				
学校便り、学級通信等を定期的に発行し、家庭教育のあり方について意識してもらうように努めた。講演会など各種行事への参加人数の確保が難しい。参観日等の学校での会合には、夫婦で参加する保護者が増加した。授業参観は多いが、学級PTAへの参加は少ない。学校と家庭とが、子育て等に関する情報交換や学習の場をもつことができたが、2極化の傾向にある。もっと自由に意見が言えるような雰囲気作りが必要である。学級懇談会についても参加していただける保護者は固定化している。				
<b>男女共同参画の視点での評価</b>				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか				4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか				5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか				4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか				5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか				4
<b>平成26年度予定</b>				
各種通信やホームページの内容の充実を図る。みんなが興味を示し、積極的に参加できる事業を行う(参加率を上げる)。学級レク活動が楽しい交流の場となり、保護者通しの意思疎通が図れるようにする。PTA専門部会を中心に、みんなが会の企画・運営に参加できる事業を実施する。学校保健委員会に歯科衛生士さんを招いて、歯と口の健康について学習する。毎月第一日曜日を「結出小家読の日」として設定し、親子読書活動を推進する。	予算額			
	目標値			
	100%			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>						
<b>推進方策</b>	<b>2 男女共同参画に関する教育・学習の推進</b>						
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
<b>関連事業</b>	<b>担当課</b>	<b>数値目標</b>		<b>計画(第2次)での方向</b>			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	29館	30館 (延べ60回)	①充実 ●	②継続		③新規
<b>事業の概要</b>							
家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。							
<b>平成25年度実績</b>							
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 30館 講座実施回数 : 77講座 述べ時間数 : 127時間 参加者数 : 3,120人(うち、男性 1,260人、女性 1,860人)							決算額
							484千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
実施公民館数が、平成24年度から1館増加した。 講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成26年度予定</b>							
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 29館 講座実施回数 : 82講座 述べ時間数 : 135時間							予算額
							421千円
							目標値
							30館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>						
<b>推進方策</b>	<b>2 男女共同参画に関する教育・学習の推進</b>						
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
<b>関連事業</b>	<b>担当課</b>	<b>数値目標</b>		<b>計画(第2次)での方向</b>			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	5回	4回				
<b>事業の概要</b>							
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。							
<b>平成25年度実績</b>							
会場 宇和島市立三間小学校 平成25年5月26日(日) 参加者:40名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん							決算額
							38千円
会場 宇和島市立和霊小学校 平成25年10月13日(日) 参加者:400名 「命の根っこにある人権」 講師 大洲高等学校教諭 繁樹義一 さん							実績値
会場 宇和島市立下灘小学校 平成25年10月27日(日) 参加者:147名 「今でしょ！人権学習」 講師 宇和島市立下波公民館長 酒井忠彦 さん							4回
会場 宇和島市立南部小学校 平成25年12月5日(木) 参加者:25名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
言葉の大切さや「人権」の意味について、児童にも分かりやすく話をしていただいた。友だちなどの人間関係についても、考え直す機会となり、感想の中にもそのことがよく表れていた。パワーポイントを利用し、変化と機知に富んだお話で、楽しい充実した講演であった。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成26年度予定</b>							
人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を4回程度開催する。							予算額
							38千円
							目標値
							4回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課			●			

事業の概要

学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。

平成25年度実績

通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。	決算額	0千円
	実績値	100%
	進捗状況	3

事業に対する評価・課題等

特になし

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成26年度予定

前年と同様	予算額	0千円
	目標値	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課			①充実	●	②継続		③新規
<b>事業の概要</b>								
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>								
<b>平成25年度実績</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児一人一人の発達や特性を理解し、職員が連携し合い、より良い成長が促されていくよう援助した。また、幼児同士が関わる中で、互いの良さに気付くように努めた。</li> <li>・遊びや生活の中で、集団のルールの大切さに気付かせ、優しさや思いやりの気持ちが育まれるよう取り組んできた。</li> <li>・幼児同士が触れ合い、自分の思いをのびのびと表現しながら活動できる場の工夫に努めた。</li> <li>・家庭教育支援事業等を通して、子育ての楽しさや家庭教育の大切さを知らせるなど、保護者への啓発を図ってきた。</li> <li>・園生活の様子を保護者へ伝えたり、発信したりして家庭生活の大切さを啓発してきた。</li> <li>・家族参観日など、子育てに関心を示してもらう機会を設けるとともに、人権・同和教育の研修会や保育実践を行う。</li> </ul>								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに命の大切さについても知らせていく。</li> <li>・生活リズムの乱れから遅刻や欠席等が続く家庭については、理解・協力がなかなか得られなかった。</li> <li>・互いの思いを伝えたり、受け止めたりしながら活動するようになった。</li> <li>・保護者の子育てに対する意識の変化がみられるようになった。</li> <li>・人権・同和教育研修会を通して、人権尊重への意識や、家庭生活の大切さを理解してもらうことができた。父親の研修会参加が課題である。</li> </ul>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
<b>平成26年度予定</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の幼児理解と、個々に合った指導の在り方の充実</li> <li>・地域の方や身近な人たちとの交流。</li> <li>・引き続き職員間の幼児理解と個に応じた援助等を行うとともに、保護者への啓発に努める。</li> <li>・互いの思いを伝え合い、相手を思いやる幼児の育成・指導家庭教育の大切さの意識啓発</li> <li>・家族参観日・人権・同和教育保護者学習会</li> </ul>								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	<b>2 男女共同参画に関する教育・学習の推進</b>	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	97%	100%	①充実	②継続	●	③新規	
<b>事業の概要</b>								
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。</p>								
<b>平成25年度実績</b>								
<p>縦割班の活動を通して、男女や学年の枠を超えた活動が行えた。定期的に「児童を見つめる会(生徒指導研修)」を実施し、全教職員体制で、児童一人一人の特性に応じた指導に努める。教員一人一人の能力・特性を生かした校務分掌の在り方を検討した。男女混合名簿を作成するなど、男女平等思想に基づいた教育実践を行った。清掃、体育祭・運動会、遠足、諸活動などを学年を超えて班に分けて行った。学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭教育の大切さ等に関する教育を充実させた。また、児童生徒一人一人の特性に応じた指導を行うことで、いじめや不登校の未然防止を図った。全校児童を対象に毎学期「なかよし生活アンケート」を毎月行った。全校児童生徒を対象に「生活アンケート」を毎月行った。</p>								決算額
								実績値
								95%
								進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>男女が協力して授業や学校行事に取り組む場面が多く見られた。生徒指導情報を全教職員が共有し、全教職員体制で生徒指導に対応することができた。教育相談の仕方を工夫し、全教職員で全校児童を見守る体制を整えることができたチームでの取組を継続していきたい。いじめに関しては今後もしっかり注意していかなければならない。保護者の啓発を今後も続けていきたい。学校の教育目標「笑顔で登校満足して下校」の達成に大きな効果があった。女子のリーダーが育ってきている。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
<b>平成26年度予定</b>								
<p>児童一人一人に目を向けた教育相談の充実を図る。幼稚園との交流活動をさらに充実させる。全校児童と向き合う時間の確保に努め、教師に悩みや願いを相談できる信頼関係を確立する。保育園、障害のある方との交流活動を年間計画に組み込み、充実を図る。いじめや不登校などの未然防止の取組について、保護者に分かりやすく説明し、理解と協力を得るようにする。</p>								予算額
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課					●	

**事業の概要**

様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。

**平成25年度実績**

日 時 平成25年8月9日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テー マ 「LDから考えよう! ~あらゆる子どもの為にできること~」 講 師 明蓬館高等学校コーディネーター 南雲 明彦 さん 参加人数 520名	決算額	247千円
	実績値	1回
	進捗状況	5

**事業に対する評価・課題等**

学習障害の一つであるディスレクシア(読み書き困難)についてご講演いただいた。発達障害がある子をはじめ様々な立場の子どもの存在を認め、クラスに居場所を作ってほしいという講師の訴えに、参加した教職員は熱心に聞き入っていた。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

**平成26年度予定**

日 時 平成25年8月8日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テー マ 「深刻化するネットいじめ ~その現状と大人の役割~」 講 師 メディアジャーナリスト 渡辺 真由子 さん 参加人数 500名	予算額	30千円
	目標値	1回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
特別支援教育推進事業	教育総務課			①充実	●	②継続		③新規
<b>事業の概要</b>								
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。								
<b>平成25年度実績</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だより・クラスだより等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さや楽しさなどを共有することで、保護者の子育ての参考になることや思い等発信してきた。</li> <li>・園生活を通して、様々なことに興味・関心をもち、自己発揮しながら活動できる環境 設定を工夫し、援助の仕方考えた。</li> <li>・保護者との連携を通して一人一人の課題や問題点を探り、解決できるよう努めてきた。また、特別支援教育については、関係諸機関と連携を図りながら、職員自身も研修を深めてきた。</li> <li>・一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる幼児を育てる。</li> </ul>								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携を深め、協力しながら幼児自身が自分で考え、自分で行動することができるよう生きる力の基礎を培っていく。</li> <li>・成長の過程を、長いスパンで考えていくようにして、日々心豊かな経験を積み重ねていく。</li> <li>・家庭教育学習会の場を十分に提供することができなかった。</li> <li>・年長の保護者全員が、発達障害の症状や保護者に対して、理解と共感を示してくれた。配慮児を取り巻く人たちの協力を得ながら、就学することができた。今後の小学校との連携が課題である。</li> <li>・園内研修を重ね、共通理解を図りながら指導にあたり、幼児の成長・発達が見られる。</li> </ul>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
<b>平成26年度予定</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学習会の充実した内容の選択と取組</li> <li>・保護者の実情や要望等に適した学習会の内容を取り入れ、園と保護者との一層の連携を図る。</li> <li>・多様なニーズに対応できる環境構成や、幅広い考えを受け入れる素地作りの指導を工夫する。</li> <li>・様々な機会を作り、幼児の育ちや保護者の思いを理解する。</li> <li>・家庭の協力を得ながら幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、配慮を要する幼児を中心に、主体的に取り組む幼児集団の育成を目指す。</li> </ul>								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課			①充実	②継続	●	③新規
<b>事業の概要</b>							
一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。一人一人の良さを生かす教育を推進する。							
<b>平成25年度実績</b>							
一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。一人一人の良さを生かす教育を推進する。「個別の教育支援計画書」を作成し、特別支援教育推進の充実に努めた。特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育の校内研修の充実を図った。個別の教育支援計画・指導計画を作成するとともに、特別支援教育研修を計画的に実施した。校内委員会を定期的に実施し、全教職員の共通理解を図り、適切な支援をすることができた。一人一人の障害に対する正しい理解と認識を認め、適正な就学の推進に「努め、関係諸機関と連携し、指導内容や方法の充実を図った。校内研修で取り上げ、校内就学指導委員会の充実を図った。ケース会議を定期的に開催した。言葉の教室担当教諭を講師として招き、明瞭な発音のための口形の指導を受けた。							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
特別支援教育支援員の理解・協力により、きめ細かな支援を行うことができた。全職員が共通理解を図りながら、支援・指導に当たることができた。教職員の研修が深まり、個に視点をあてた取り組みをすることができた。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成26年度予定</b>							
特別支援学級の児童に対し、家庭との連携を密にするとともに、生活支援員や関係諸機関との連携も図り、生活の質の向上に努める。個に応じた支援活動の更なる充実。支援員との協力体制の強化。特別支援学級と協力学級との連携を強化し、児童生徒の居場所づくりに努める。特別な支援を必要とする児童の障害の状態等に応じたきめ細やかな指導と支援を全校体制で行う。巡回教育相談等を活用して、特別な支援を必要とする児童に対する指導のあり方についての理解を深める。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	①充実	②継続	●	③新規
<b>事業の概要</b>							
<p>将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。キャリア教育の推進。発達段階に応じた職業意識を育てる。自己有用感を育てる。</p>							
<b>平成25年度実績</b>							
<p>地域人材を活用した総合的な学習を進めることにより、地域に対する愛着を強めるとともに、自己有用感を高める効果が見られた。縦割班活動を通して、性別に促されない役割分担を行うことができた。体験活動を通じて、園児とのふれあい、お年寄りとの交流の機会を設定することで、自己有用感を高めることができた。将来への夢や希望を持ち、明るい気持ちで生活しようとする態度の育成に努めた。具体的な将来像を描けるよう、キャリア教育の推進を図った。性別にとらわれない異年齢集団の活動をした。性別にとらわれない児童会活動、係・当番活動の充実を図った。総合的な学習で、校区内体験を行ったり、産業・文化等について調べ学習を行い、校区に対する理解を深めることができた。学校のすべての教育活動を通して、自己有用感や自己肯定感を育てることに努めた。個人差への対応のため補充学習に力を入れた。性別にとらわれない児童会活動、係・当番活動の充実。総合的な学習の時間を利用した職場体験学習を実施した。</p>							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>職業や自分の将来に対する児童の関心・意欲が高まった。教育活動を通して、発達段階に応じた勤労感が育ってきている。多様な働き方があることを小学生が実態としてつかむことが困難である。まずは自分の長所にしっかり目を向けることができるよう配慮していく。防災事業を推進したことにより、地域をよく知ることができた。児童にとって、男女の協力体制で児童会活動・係活動・当番活動で働くことの大切さが理解できた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成26年度予定</b>							
<p>地域の人材を多用した体験的な学習を充実させる。自分の考えが素直に言い合えるような学級づくりを行う。高学年と低学年の交流、活動の活性化と個別の補充学習をいっそう計画的に進めていく。赤十字ボランティア活動を通して、働くことの尊さを実感させる。縦割り班活動や委員会活動等を通して、役に立つ喜びを味わわせることにより、発達段階に応じて働く意義を考えさせる。委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。上級生と下級生の交流、活動の活性化と個別の補充学習を一層計画的に進めていく。委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。児童の主体的な活動になるようにする。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	<b>2 男女共同参画に関する教育・学習の推進</b>	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	①充実	●	②継続	③新規
<b>事業の概要</b>							
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。							
<b>平成25年度実績</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。</li> <li>・委員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。</li> <li>・祖父母との活動だけでなく、地域の老人クラブの人たちと「昔の遊び交流会」を行い、保護者も交えて楽しい時間を過ごした。</li> <li>・園行事やPTA活動の中で、父親参加を推進し、子育てに関心をもつなど男女参画へとつなげる。</li> <li>・PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。</li> </ul>							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。</li> <li>・保護者のニーズに合った行事日程を組むことで、参加者も多く、みんなの協力を得ることができている。</li> <li>・父親参加が多く見られるようになってきた。</li> <li>・父親の参加者は多いが、子育てに関する理解には至っていない。</li> </ul>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成26年度予定</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児への適切な指導の為の研修会への参加と充実</li> <li>・家庭教育学習会や子育てサポート内容の充実を図る。</li> <li>・久々の男性の会長を中心に、保護者の協力を得ながら、様々な活動に取り組んでいく。</li> <li>・子育て学習会や保護者学習会、PTA活動の充実</li> </ul>							予算額
							—
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	①充実	②継続	●	③新規
<b>事業の概要</b>							
学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。							
<b>平成25年度実績</b>							
PTA理事の女性の視点を生かしたPTA活動を行うことができた。男女の特性に応じた学校・学級経営の在り方について研修に努めることができた。教職員一人一人の能力・特性を生かした適材適所による校務分掌を行った。男女の特性を生かしたPTA活動を工夫した。学校評価アンケート、学校関係者評価委員会の方のご意見を取り入れ、開かれた学校づくりのために改善を図った。また学校ホームページを開設し情報発信に努めた。重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組めた。保護者や地域の声に耳を傾け、要望等に対しては即日対応を心掛けた。							決算額
							実績値
							93%
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
PTA活動に男女が協力して取り組む場面が数多く見られた。男女平等の中にも、それぞれの特性を生かした学校運営ができています。適材適所の組織づくりができ、スムーズな学校運営ができた。PTA活動への父親の参加が増え、男女が協力して活動することができた。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成26年度予定</b>							
保護者や地域の人々と連携した学校づくりの推進。専門職としての資質・能力の向上と信頼される教職員の組織づくり。学校評価アンケート、学校関係者評価委員会、ほか、地域の方との交流の中で、様々な意見を参考にしていきたい。教職員がともに認め合える組織づくり。校内にチャレンジコーナーを新設して、校外スポーツや各種の体験活動等への参加を呼びかけるようにする。男女の特性を生かしたPTA活動への参画。学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(4) 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実	②継続	●	③新規
<b>事業の概要</b>							
男女共同参画に関わる研修の充実。教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。							
<b>平成25年度実績</b>							
男女共同参画に関わる研修の充実。教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。学校運営における男女の役割を見直し、教職員一人一人の資質・能力の向上に努めた。年間30回以上の校内研修会を実施した。各研修会・研究会への積極的な参加を促した。研究授業や出張報告等により、教職員の資質・能力の向上に努めた。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
外部講師を招いての研修を実施することにより、職員の意識の向上につながった。男女関係なく、研修の機会を多数設けた。年間15回以上の授業研究会をもち、各指導者が自信をもって授業を公開することができた。教員の場合、制度としてライフステージに沿った研修が男女性差なく行われている。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成26年度予定</b>							
出張研修の報告会を校内研修会に取り入れる。教職員の能力・資質の向上のために計画的な校内研修を行う。学力向上の推進、学習指導の改善についての研修を行う。セクハラ・パワハラについての研修会を持つ。中学校区の共通課題を踏まえ、さらに協力して校内研修充実に努める。男女双方から研修希望を取り、計画的な校内研修を行う。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
男女共同参画出前講座	企画情報課	4回	5回	①充実		●	③新規	
<b>事業の概要</b>								
市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。								
<b>平成25年度実績</b>								
H25.11.6(水) 三間中学校PTA研修会「内容:自分らしく生きるコツ」								決算額
								13千円
								実績値
								1回
								進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
男女共同参画に関する幅広いテーマでの出前講座を開催することで、男女共同参画について団体等が考えるきっかけづくりができ、理解を深める事ができた。ただし、多く利用いただくためにも周知に力を入れる必要がある。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
<b>平成26年度予定</b>								
昨年度と同様に広報への掲載・関係団体へのチラシ送付等により事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。								予算額
								92千円
								目標値
								-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	<b>2 男女共同参画に関する教育・学習の推進</b>	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
自治会別人権・同和問題学習課	人権啓発課	41回	35回	①充実	②継続	●	③新規

**事業の概要**

昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。

**平成25年度実績**

<p>わにならう会：小地域別人権・同和教育懇談会          目的：同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。          開催期間：平成25年12月19日～平成26年3月7日 19:00～20:30          会場：20自治集会所(35自治会区)          参加者数：126名          内容：アイスブレイキング(様々なリボン)、視聴覚教材による人権学習他          推進員：公民館主事、教職員他</p> <p>であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会          テーマ：一人ひとりの人権が尊重される町づくりをめざして ～宇和島市人権に関する市民意識調査より～          会場：14自治会の集会所または公民館(14自治会区)          開催期間：平成25年10月4日～平成25年10月18日 19:30～21:00          参加者：145人          推進委員：三間町人権教育推進委員(32名：6藩編成)であい・ふれあい・みんなの人権講座</p>	決算額
	563千円
	実績値
	41回
	進捗状況
5	

**事業に対する評価・課題等**

わにならう会：小地域別人権・同和教育懇談会  
 参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。

であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会  
 回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう参加者を増やしていくかが課題である。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

**平成26年度予定**

<p>わにならう会：小地域別人権・同和教育懇談会          開催予定期日：平成26年10月～平成27年3月(27自治会20会場で実施予定)</p> <p>であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会          開催予定期間：平成26年10月 19:00～21:00(16自治会で実施予定)</p>	予算額
	858千円
	目標値
	45回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(2) 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,020人	1,500人	①充実		●	③新規
<b>事業の概要</b>							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
<b>平成25年度実績</b>							
事業名:三間町人権あったかコンサート 会場:コスモスホール三間 期日:平成25年11月20日(水) 参加人数:600人 内容:人権メッセージ・三間中・三間高生徒実行委員会と岡山洪染一揆資料館研修参加児童・生徒による「人権問題学習発表」、人権啓発ポスター展、バザー(ゆいの里) 講演:講師 古川 正博 さん (テーマ:歌でたどる日本近現代史)  事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田中学校体育館 期日:平成26年2月14日(木) 参加人数:400名 内容:人権啓発作品展示、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(宇和島市連合婦人会吉田支部)、人権作文発表、人権啓発劇(遠見子ども会) 講演:講師 佐々木祐慈 さん (テーマ:原爆の子の像「佐々木禎子」が残したもの)						決算額	
						630千円	
						実績値	
						1000人	
						進捗状況	
						4	
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
事業名:『三間町人権あったかコンサート』 三間高・三間中生徒実行委員会を中心に司会、運営を行うことにより、より主体的に参加する姿勢を養うことができた。また、人権問題学習発表においても、岡山洪染一揆資料館日帰り研修を通して、学校・団体・行政との交流、連携が深まり、部落差別に対する正しい理解と、人権が守られる社会を共に築いていかなければならないとの思いを強くすることができた。 講演では、古川正博さんから、歌詞に含まれている被差別の立場にある人々の思いについて学ぶことができた。 今後も、より大勢の方に参加してもらうことで、日頃の人権学習の成果をアピールする機会としていきたい。							
事業名:『人権をまもる町民の集い』 子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品の展示、バザー、手話コーラス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、人権をより身近に感じてもらい人権意識の再考に大きく寄与することができた。シンガーソングライターの佐々木祐慈さんによる人権講演においても、参加者一人一人の胸に人権の大切さを伝えることができた。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
<b>平成26年度予定</b>							
事業名:『人権を考える市民の集い』 会場:宇和島市立城南中学校 期日:平成26年11月(開催日及び講演内容未定) 事業名:『笑顔の集い』 会場:宇和島市立津島中学校 期日:平成26年11月(開催日及び講演内容未定) 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 会場:コスモスホール三間 期日:平成26年11月13日(講演内容未定) 事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田中学校 期日:平成27年2月(開催日及び講演内容未定)						予算額	
						1,200千円	
						目標値	
						1300人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
臨時託児所設置事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
<b>事業の概要</b>							
子育て中の市民の社会参加を支援するため、市が行うイベントや各種会議等に臨時託児所を設置します。							
<b>平成25年度実績</b>							
H25.5.31(金) 天神公民館公民館講座「食育学習会」時臨時託児所 2名利用 H26.6.2(日) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 11名利用							決算額
							14千円
							実績値
							2回
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
子育て中の方も気兼ねなくイベント等に参加できるよう臨時託児所を設置したところ、多くの方に利用いただけた。他課の事業においても積極的に利用してもらいたい。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成26年度予定</b>							
H26.7.12(土) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 等							予算額
							40千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			①充実	●	②継続	③新規
<b>事業の概要</b>							
「宇和島市生涯学習推進計画」を基本に、生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習社会を支える人づくりに努めるとともに、市民の学習ニーズを把握しながら、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。							
<b>平成25年度実績</b>							
【地区公民館】学級・講座(実施回数) ①家庭教育講座: 77回 ②人権・同和教育講座: 25回 ③女性学級: 59回 ④高齢者学級: 99回 ⑤成人学級: 6回 ⑥公民館講座: 203回 【生涯学習センター】 1. 第21回生涯学習うわじまフェスティバル(参加人数) ①夢「であい」魔SSHOWコンサート ファイナル:450人 ②第11回宇和島名作劇場:132人 ③第16回宇和島文学歴史講座:152人 ④市民大学「愛大探検隊!」:7人 ⑤カタリバn宇和島2013:68人 2. 市民講座(実施回数) ①ばそこん講座:28回 ②クラフトバッグ教室:4回 ③光る泥だんご作り講座:2回 ④七宝焼き教室:1回 ⑤布で作る季節の飾り講座:4回 ⑥クリスマスリース講座:3回 ⑦ストレッチポール教室:2回							決算額
							4,181千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散にて開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成26年度予定</b>							
【地区公民館】 ①家庭教育講座: 82回 ②人権・同和教育講座: 69回 ③女性学級: 56回 ④高齢者学級: 102回 ⑤成人学級: 0回 ⑥公民館講座: 148回 【生涯学習センター】 1. 第22回生涯学習うわじまフェスティバル(実施予定) ①宇和島芸術祭 ②第17回宇和島文学歴史講座 ④市民大学 ⑤カタリバn宇和島2013 2. 市民講座(実施予定) ①ばそこん講座:30回 ②クラフトバッグ教室:4回 ③光る泥だんご作り講座:2回 ④布で作る季節の飾り講座:4回 ⑥クリスマスリース講座:2回 ⑦ストレッチポール教室:2回							予算額
							4,396千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I 男女がともに認め合う人づくり</b>	
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(4) メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
<b>事業の概要</b>							
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。							
<b>平成25年度実績</b>							
研修、職員会を利用し、メディアリテラシーの研修を行った。情報教育についての研修を計画的に校内研修で実施した。年度当初の研修会でメディア・リテラシーの研修を行う。長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行う。情報教育主任がホームページに関する研修を行った。長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行なった。ホームページ更新のための研修やソフト活用のための研修を実施した。課題に応じて情報を収集・判断し、受け手に発信・伝達する学習に取り組んだ。総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。情報教育の校内研修を実施し、教職員が情報セキュリティについて共通理解を図った。新聞、テレビ、インターネット等のメディアリテラシーについて、社会科や技術・家庭科、総合的な学習の時間等で生徒に指導した。また、スマートフォン、携帯、ブログやライン利用方法やマナーについて徹底を図った。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
児童のメディアリテラシーを高める研修の機会が少なかった。教職員一人一人が、情報管理を意識しながら行うようになった。教職員のメディア・リテラシーへの意識が高まった。教職員一人一人が自分のパソコンの管理を慎重に行うようになった。教職員の能力差が大きくて、最低限の研修になることが多い。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成26年度予定</b>							
児童の情報モラルを高める研修の実施。教職員一人一人が、メディア・リテラシー向上に向けた研修を受ける。情報機器の効果的な活用を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。学校ホームページの充実を図る。情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話だけでなく、スマートフォンにも視野を広げて)。情報機器の活用方法の研修を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。電子黒板の授業での効果的な活用方法を研修する。夏季休業中にホームページ作成研修や情報管理研修を実施							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—